

児童発表型



実践テーマ

各国の文化や生活の様子、日本との関係について調べたことを発表しよう。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

導入：本時のめあてを確認する。発表・聞く時のポイントを確認する。
 展開：各グループ（アメリカ・中国・韓国・サウジアラビア）がインターネットに接続したPCの画像を見せながらその国の文化や生活、学校の様子を発表する。
 まとめ：模造紙にまとめたものを見ながら、まとめる。（知識の定着）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	1. 本時のめあてを確認する。発表の際のポイントについて各自がカードにまとめておくことを確認する。	
展開	2. 発表 ・4つの班に分かれて、児童がそれぞれ担当する国について調べたことを、実物を見せたり、電子黒板等の情報機器を使ったりしながら発表する（静止画・動画・実物・Web）。 ・他の班の児童は、気づいたことをワークシートにまとめる。 ・各グループの発表の後に、その国の文化や生活の様子や学校の様子を整理しながら、教師が模造紙に書いてまとめる。	●Web地図サービス ●動画クリップ ●NHK番組（録画） ●実物（本・資料等） ●ワークシート
まとめ	3. まとめ ・整理した模造紙を用い、それぞれの国の文化や生活の様子を理解し、日本との関係について考える。	



インターネット画面を大きく映し、情報を共有する



電子黒板を用いて、焦点化させる

児童の反応・効果

- ・画像や映像が、大きな画面に映し出されることにより、発表に対する集中力が高まった。
- ・発表に画像や映像を取り入れたことにより、よりわかりやすい発表になった。
- ・実際に見ることが難しい各国の生活の様子を、コンテンツなどの動画を使って見ることで、各国の様子を想像しやすくし、さらに印象にも残った。

活用のポイント

- ・外国の文化や生活の様子、学校の様子についての調べ学習では、本や資料集のほかにインターネットや地域のネットワークで提供される動画クリップを活用し、理解を深める。
- ・本などの小さい資料は、電子黒板に大きく映すことにより、回す手間を省き、全員で一斉に共有できるようにする。
- ・大きな画面に映し出すことで、集中力の高まりや、リアルな映像（印象）を与えるようにする。
- ・発表の全てを、電子黒板等の情報機器を使って行うのではなく、デジタルとアナログのどちらのほうがりやすく伝えられるかを考えながら、発表の準備をさせる。